



静岡市

森林カーボנקレジット創出促進事業

中間報告会 資料

令和8年7月30日

環境局 森林経営管理課
(運営事務局：静岡経営コンサルティング株式会社)

森林カーボンクレジット創出促進事業の概要

事業の目的

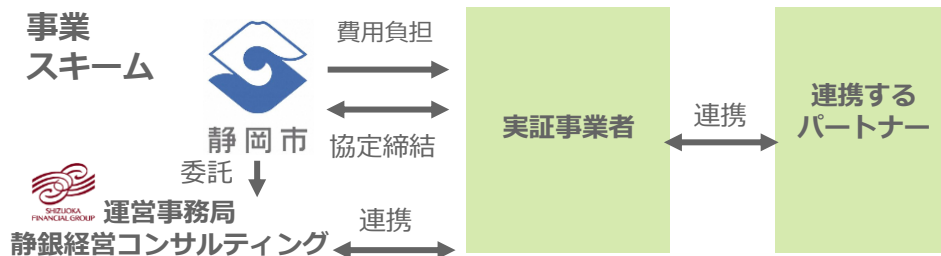
- 静岡県では、森林の有する公益的機能の高度発揮を目指す「環境林」と、公益的機能に配慮しつつ、木材生産を主体として資源の循環利用を行う「循環林」とに市内の森林を区分し、森林経営管理を推進しています
- このうち「環境林」は、木材生産による収入を見込めないことから、森林所有者等が適正な管理に必要な費用を負担できないことが課題となっており、「環境林」として持続的に保全をしていくためには、森林所有者等が適正に森林管理を行うインセンティブを確保することが重要です
- このため、新たに創出する森林カーボンクレジットは、森林による温室効果ガスの吸収だけでなく、災害抑制や水源の涵養、土壌・生物多様性の保全などの、森林が有する公益的機能を評価したものとします
- 創出されたクレジットが認証され、環境への貢献をアピールしたい企業がクレジットを購入し、それが森林所有者などの収入となり、適正な森林管理事業に充当されることを目的とします

実証事業概要

実証事業の前提条件

- 静岡市の目指す「環境林」に係る提案であること。ただし「環境林」だけでなく、「循環林」に係るものも含めた提案についても可とする
- 森林による温室効果ガスの吸収だけでなく、災害抑制や水源の涵養、土壌・生物多様性の保全などの森林が保有する公益的機能も評価し、高度発揮する方法論であること
- 革新的なアイデアに基づく森林カーボンクレジット創出モデルにより、「木材生産による収入に頼らなくても適正な森林管理を行うインセンティブとなる」提案であること
- 本事業を通じて市内森林におけるカーボンクレジット創出の活性化に寄与すること

事業スキーム



実証事業者と運営事務局の業務内容

実証事業者の業務内容

- 1 新たなカーボンクレジット創出スキームの作成**
 - ・実証事業の遂行に向けた実施計画書の作成
 - ・実証事業の場及び機会を確保（事前に確保している場合は除く）
 - ・新しい森林カーボンクレジット創出に向けた方法論の検討
- 2 データ収集（吸収量算定・モニタリング）・データ解析および方法論の妥当性評価**
 - ・「環境林」におけるCO2吸収量の算定手法の検討および確立
 - ・必要なエビデンスの設定
 - ・必要なデータを収集および解析
 - ・方法論確立およびモニタリング手法の確立
- 3 モニタリング及びクレジット認証機関との調整・方法論の実証**
 - ・カーボンクレジット創出に向けた認証機関や認証制度の選定
 - ・検討した方法論に基づき、運営事務局と連携し、認証機関と調整を行う

- 4 実証事業の報告及び情報発信**
 - ・実証事業の成果を公表

運営事務局の業務内容

- 1 実証事業者の実証事業実施に向けた伴走支援**
 - ・実証事業の場の調整
 - ・実証事業の場及び機会の確保のサポート
 - ・実証事業の進捗管理及び助言等
 - ・カーボンクレジット認証機関との調整及び書類作成
- 2 効果的な情報発信及び機運醸成**
 - ・事業ウェブサイトの開設及び運営
 - ・事業成果の広報・PR

伴走
支援

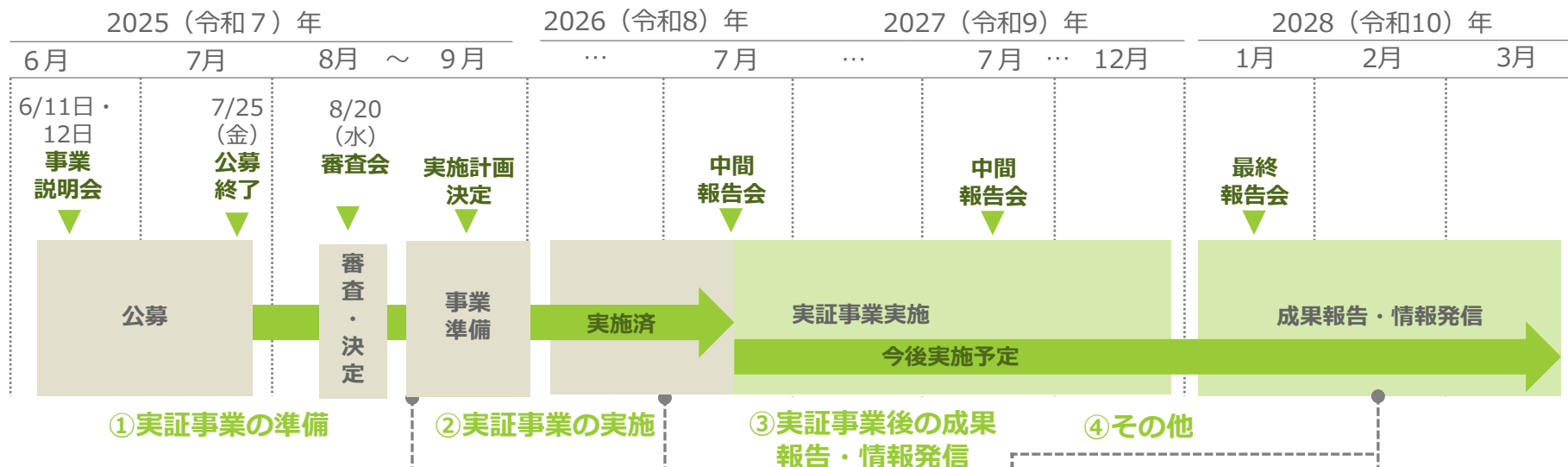


広報
の支援



実施スケジュール

- 本事業は令和7年度から令和9年度までの最大3か年事業として、以下のスケジュールでの実施を計画しています



令和7年9月～

- 採択された実証事業者は、本事業の目的が効果的に達成できるよう、「実施計画書」を作成しました
- 実証事業に必要な資源の手配、実証場所との調整等を行いました。各事業者が実証を実施しました

令和7年9月中旬～ 令和8年7月

- 森林データの取得・解析等を行いました
- 公益的価値の評価手法の検討を実施しました
- 認証・社会実装に向けた検討を実施しました
- クレジット化に向けた方法論の選定、審査機関の選定等に取り組みました

令和8年7月～

- 事業成果の広報及びPR（中間報告会・最終報告会等）を実施します
- 今後、クレジット創出に向けた申請関連書類作成や認証期間との調整を実施します

令和10年1月～3月

- 実証事業者は、運営事務局が開催する各種報告会等に参加するほか、本事業の広報活動やPRに積極的に協力する共に、事業成果を広く周知します（ウェブサイトへの情報掲載、事業者による自社プレスリリースの発信、各種イベント等における発表等）

株式会社ジャパングスエナジー

国際認証を見据えた森林カーボנקレジット創出の先駆的取組

株式会社ジャパングスエナジーは、エネルギー分野で培った知見を活かし、森林由来カーボנקレジットの創出に取り組んでいます。本事業では、国際的なボランタリークレジット制度であるVerraへの登録を見据え、衛星データ、LiDAR、環境DNA、IoTセンサー等を活用した科学的なモニタリング手法の構築を推進しています。静岡市の環境林を対象として、CO₂吸収量だけでなく、生物多様性や水源涵養など森林が有する公益的機能の可視化・高付加価値化に取り組んでいます

株式会社中井俊裕カーボンニュートラル研究所

森林の多面的価値を活用した新たなクレジットモデルを提案

株式会社中井俊裕カーボンニュートラル研究所は、「静岡版複合型クレジット創出モデル」の構築を目指し、森林クレジットに加えて、水源涵養、生物多様性、防災、小水力発電、木質バイオマスなど、森林が有する様々な価値の定量化に取り組んでいます。ドローンLiDAR、人工衛星データ、AI解析など最新のデジタル技術を活用しながら、森林の多面的な公益価値を地域経済へ還元する新たな仕組みの構築を進めています



静銀経営コンサルティング株式会社